

6月10～12日の梅雨前線における下笠ダム・松原ダムの効果について ダムにより小湊地点の水位を約40cm低下

平成23年6月13日 16時00分発表
九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所

- ・下笠（しもうけ）ダム・松原（まつばら）ダムへ入ってくる水量の一部を貯める（洪水調節）ことで、最大流入時には下流へ流す水量（ダム通過量）を約7割に低減しました。
- ・この結果、ダム下流の小湊地点で水位を約40cm低下させたものと推測しています。
- ・また、11日から実施予定でした松原ダム弾力的管理試験は、本降雨により河川への補給が不要となったため、試験を中止しました。

- 九州地方に停滞した梅雨前線の影響により、筑後川上流では6月10日10時頃から雨が降り始めました。
- 下笠ダムでは、ダムに流れ込む水量（流入量）が毎秒350立方メートル（洪水調節開始流量）に達した（1回目）11日3時44分、（2回目）12日13時46分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
また、松原ダムでは、ダムに流れ込む水量（流入量）が毎秒700立方メートル（洪水調節開始流量）に達した（1回目）11日4時16分、（2回目）11日8時38分、（3回目）11時20分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
- その結果は、ダムへの最大流入量毎秒1,100立方メートルのうち、ダムに貯留することで下流へ流す水量を毎秒742立方メートルまで低減する操作を行いました。その効果は、日田市の「小湊水位観測所」で水位を約40cm低下させたものと推定されます。
- ダム上流域の降雨及び洪水調節の状況は下表に示すとおりです。

項 目		数 値	備 考
下笠ダム 松原ダム	ダム上流域 総雨量	353.8mm	6/10 11:00～6/12 20:00
	平均雨量 最大1時間雨量	26.8mm	6/11 8:00
	最大流入量	毎秒1,100立方メートル	5/11 9:40
	最大ダム通過量	毎秒 742立方メートル	←最大流入量の約7割
	最大ダム貯留量	406万立方メートル	
※ 小湊水位 観測所	観測水位 (6/11 11:40)	2.91m	水位危険度レベル 1
	ダムがなかった場合の水位(推定)	3.27m	水位危険度レベル 2
	洪水調節による水位低減量(推定)	約40cm	

※小湊水位観測所：大山川と玖珠川の合流点より、約0.5km下流地点

※本資料は、筑後川ダム統合管理事務所ホームページ（以下のアドレス）に掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

※速報値のため各数値は変わる場合があります。

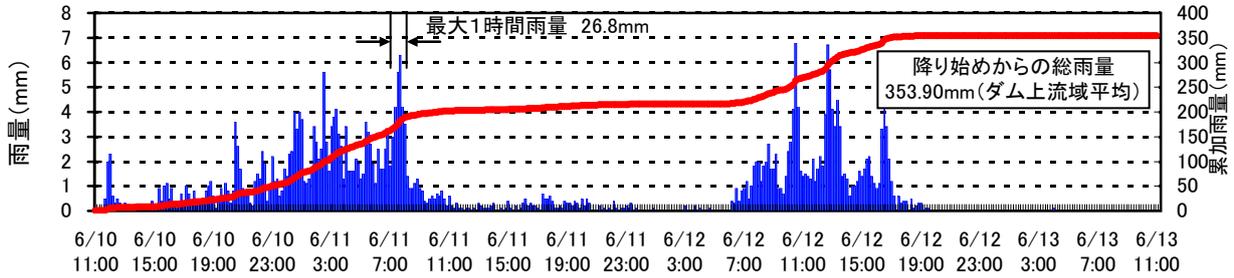
（問い合わせ先）
国土交通省九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所
副 所 長 本 多 力
Tel (0942) 39-6651 (内線 202)

下笠・松原ダムの洪水調節状況(1)

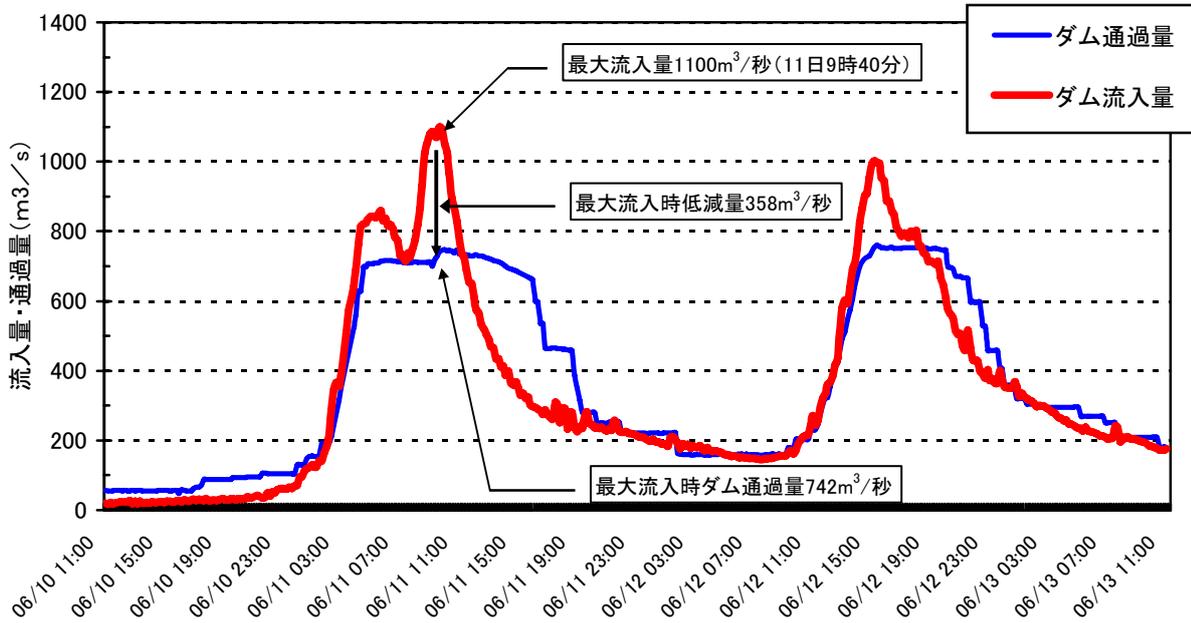
最大流入時のダム通過量を約70%に抑え、
下流の水位危険度をレベル2からレベル1に軽減

■降雨量(ダム上流域平均)

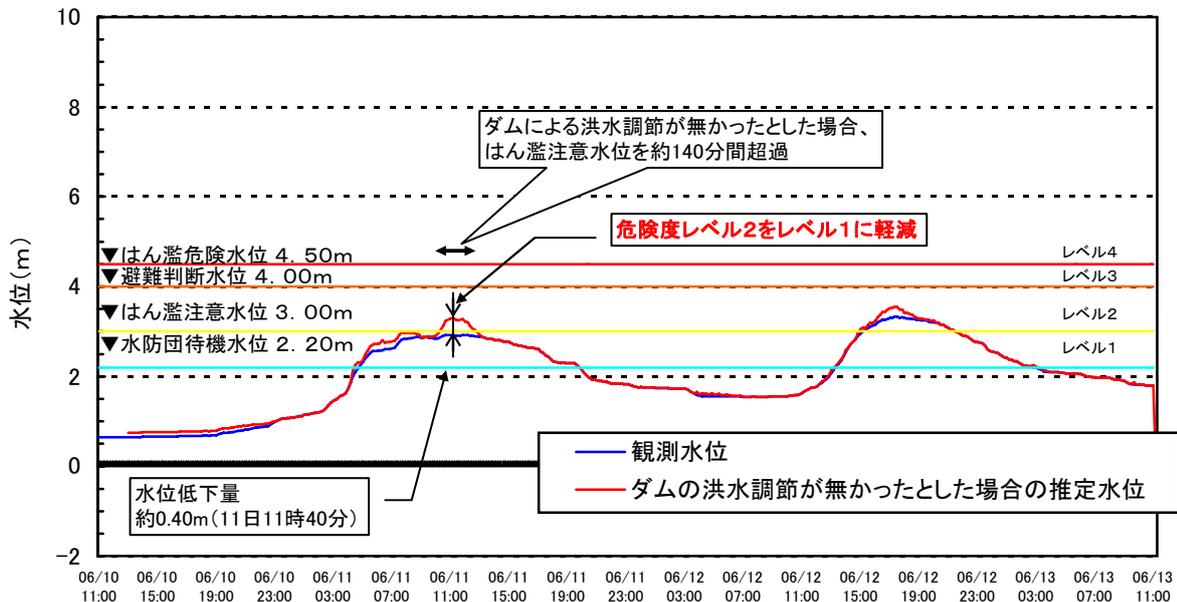
※速報値のため各数値は変わる場合があります



■下笠・松原ダムの流入量と通過量



■河川の水位【小淵水位観測所(日田市)】



下笠・松原ダムの洪水調節状況(2)

最大流入時のダム通過量を約70%に抑え、
下流の水位危険度をレベル2からレベル1に軽減



平成23年6月11日 下笠ダムの洪水調節の状況



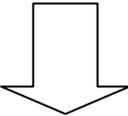
下笠ダム洪水貯留前
(洪水調節容量の貯水率0%)



下笠ダム洪水貯留後 洪水貯留量約340万³
(洪水調節容量の貯水率約7%)



松原ダム洪水貯留後 洪水貯留量約684万³
(洪水調節容量の貯水率約1.5%)



この結果...

○小湊水位観測所地点における下笠・松原ダムの効果図(推定)
大山川と玖珠川の合流点より、約0.5km下流地点

